

## 「身近な川的环境調査実施事業」

清流通信の読者の皆さん、こんにちは。今回は高知県が実施している「身近な川的环境調査実施事業」を紹介します。

この事業は、流域の中高生や住民の方々が四万十川の水環境を調査することにより、身近にある川に関心を持っていただき、その活動を通して、環境にやさしい暮らしを行っていただくことを目的としています。

四万十川条例では、「清流基準」を設け四万十川の水質を見守っていくこととしていますが、住民の皆さんには、清流度（川を水平方向に見通した透明性を表す）と水生生物について調査していただいています。本年度は、流域の4高校（幡多農業高校、中村高校西土佐分校、四万十高校、窪川高校）と西土佐の住民グループ（しゃえんじり、奈路子供会）が参加してくださっています。

先月16日には、幡多農業高校の生徒6人による調査が四万十川下流域の具同で行われました。清流度は測定者が清流度計を通して水中を水平方向に目視し、もう一人が持っている黒色の円盤が見えなくなった時の2人間の距離（メートル）を測定したものです。この日の清流度は2.7mで、過去の値とほぼ同じでした。この地点は四万十川の下流で、潮の影響を受けたり、夏場ということで値が低いですが、上流では約13m、支流の黒尊川では約20mを観測することもあります。

水生生物の調査は、石の裏側や川底にいる水生生物を採取し、その種類やスコア値（清流にすむとされる生物はスコア値が高く、汚れた環境でもすめる生物はスコア値が低い）に分類して判定します。この日は「大変きれいな水」と判定され、過去の値より良くなっていました。

高校生からは「自分の知らん昆虫が、身近な川に沢山おることに驚いた」、「自分が思いよったより、四万十川がきれいやった。もっと、きれいにするために、自分たちがやれることを調べてみたい」などの感想を聞くことができました。

地域の方々が調査されたデータは、17年度から四万十川のホームページで公表し、四万十川の姿を発信していきます。

●お問い合わせ 四万十川流域振興室 TEL088-823-9795



▲清流度測定



▲水生生物調査

### Topics

#### 第9回四万十源流ダム湖畔めぐりサイクリング

四万十川の支流・梶原川にあるダム湖畔を両町の道の駅で結ぶコースでサイクリングを行います。

- 日時：平成16年8月28日(土)10:00~17:30
- 会場：梶原町太郎川公園(道の駅)~大正町轟公園(道の駅) 57.1km
- 参加料：小学・中学・高校生 1,000円 一般 2,000円 先着150名
- お問い合わせ：梶原町環境整備課 TEL 0889-65-1111